

指定施設及び指定候補施設の一覧

１．指定施設

指定施設一覧【流域対策】

分類	指定施設	所在地	施設内容	指定日
指定雨水貯留浸透施設	県立宝塚東高校	宝塚市	校庭貯留（資料①）	H25. 4. 19
	県立阪神昆陽高校	伊丹市	校庭貯留（資料②）	H25. 4. 19
	県立西宮甲山高校	西宮市	校庭貯留（資料③）	H26. 12. 16
	県立甲山森林公園	西宮市	ため池貯留（資料④）	H26. 12. 16
	県立三田西陵高校	三田市	校庭貯留（資料⑤）	手続中
	県立北摂三田高校	三田市	校庭貯留（資料⑥）	手続中

２．指定候補施設

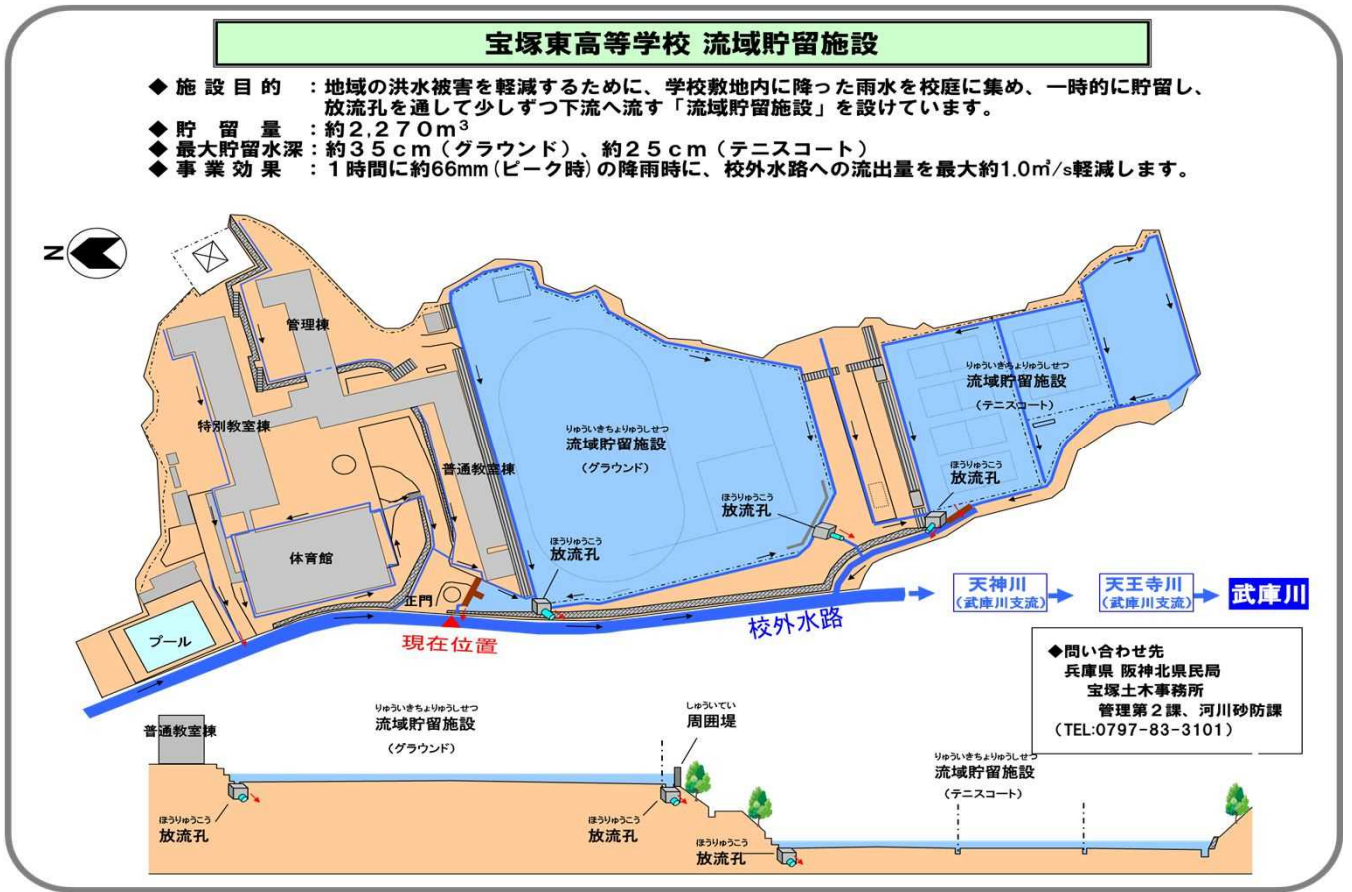
指定候補施設一覧【流域対策】

分類	指定施設	所在地	施設内容
指定雨水貯留浸透施設	県立神戸北高校	神戸市	校庭貯留
	県営伊丹西野第６住宅	伊丹市	駐車場貯留
	三田カルチャータウン 太陽光発電所	三田市	県有地を活用した貯留
指定ポンプ施設	南武中継ポンプ場	尼崎市	運転調整
	瓦木中継ポンプ場	西宮市	
	常松中継ポンプ場	尼崎市	

※今後、施設管理者と協議を行い、その他対象施設も含め指定を目指す。

学校に設置した施設案内看板及び雨水一時貯留状況写真

■施設案内看板



■雨水貯留施設写真及び雨水一時貯留状況写真



雨水貯留施設(周囲小堤)



平常時



雨水貯留状況(大雨時)

平成24年7月24日 1時間に34mmの雨^{*}を校庭に貯留しました。
^{*}ピーク時は1時間に66mm相当(換算雨量)

学校に設置した施設案内看板及び雨水貯留施設写真

■施設案内看板

阪神昆陽高等学校 流域貯留施設

- ◆施設目的：地域の洪水被害を軽減するために、グラウンド内に降った雨水を一時的に貯留し、放流孔を通して少しずつ下流へ流す「流域貯留施設」を設けています。
- ◆貯留量：約1,135m³
- ◆最大貯留水深：約36cm

◆問い合わせ先
兵庫県 阪神北県民局
宝塚土木事務所
管理第2課、河川砂防課
(TEL:0797-83-3101)

■雨水貯留施設写真



雨水貯留施設（周囲小堤）



雨水貯留施設（放流施設）

学校に設置した施設案内看板及び雨水貯留施設写真

■施設案内看板

県立西宮甲山高校「雨水貯留施設」

総合治水の取組み

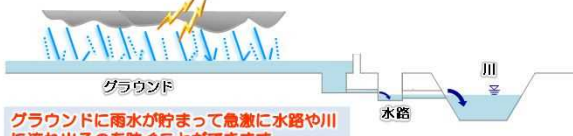
このグラウンドは、激しい雨が降った時、雨水を一時的に貯留することができます。雨水が急激に川へ流れ出るのを防ぐため、下図のような「雨水貯留施設」を設けています。

弱い雨のとき




グラウンドに水が貯まらずに川に流れ出ます

激しい雨のとき




グラウンドに雨水が貯まって急激に水路や川に流れ出るのを防ぐことができます

雨が降り止んだ後



雨が降り止んだ後は、ゆっくり時間をかけて川に流れ出ます

- ◆ 設置目的 周辺地域の浸水防止
- ◆ 貯留容量 約 1,300m³ (25mプール約3杯分)
- ◆ 最大貯留水深 約30cm



問い合わせ先 兵庫県 阪神南県民センター
西宮土木事務所 武庫川対策室
武庫川事業課 (TEL:0798-39-6145)

■雨水貯留施設写真



雨水貯留施設 (周囲小堤)

ため池に設置予定の施設案内看板及びため池貯留施設写真


■施設案内看板

甲山なかよし池「雨水貯留施設」

総合治水の取組み

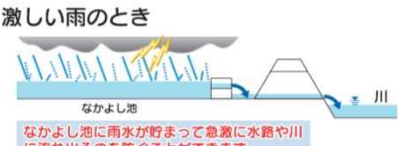
この池は、激しい雨が降った時、雨水を一時的に貯留することができます。
雨水が急激に川へ流れ出るのを防ぐため、下図のような「雨水貯留施設」を設けています。

弱い雨のとき



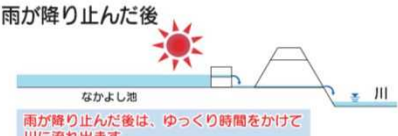
なかよし池
なかよし池に水が貯まらずに川に流れ出ます

激しい雨のとき




なかよし池
なかよし池に雨水が貯まって急激に水路や川に流れ出るのを防ぐことができます

雨が降り止んだ後



なかよし池
雨が降り止んだ後は、ゆっくり時間をかけて川に流れ出ます

- ◆ 設置目的 周辺地域の浸水防止
- ◆ 貯留容量 645m³ (新たに付加した容量)
- ◆ 最大貯留水深 20cm



問い合わせ先 兵庫県 阪神南県民センター
西宮土木事務所 武庫川対策室
武庫川事業課 (TEL:0798-39-6145)

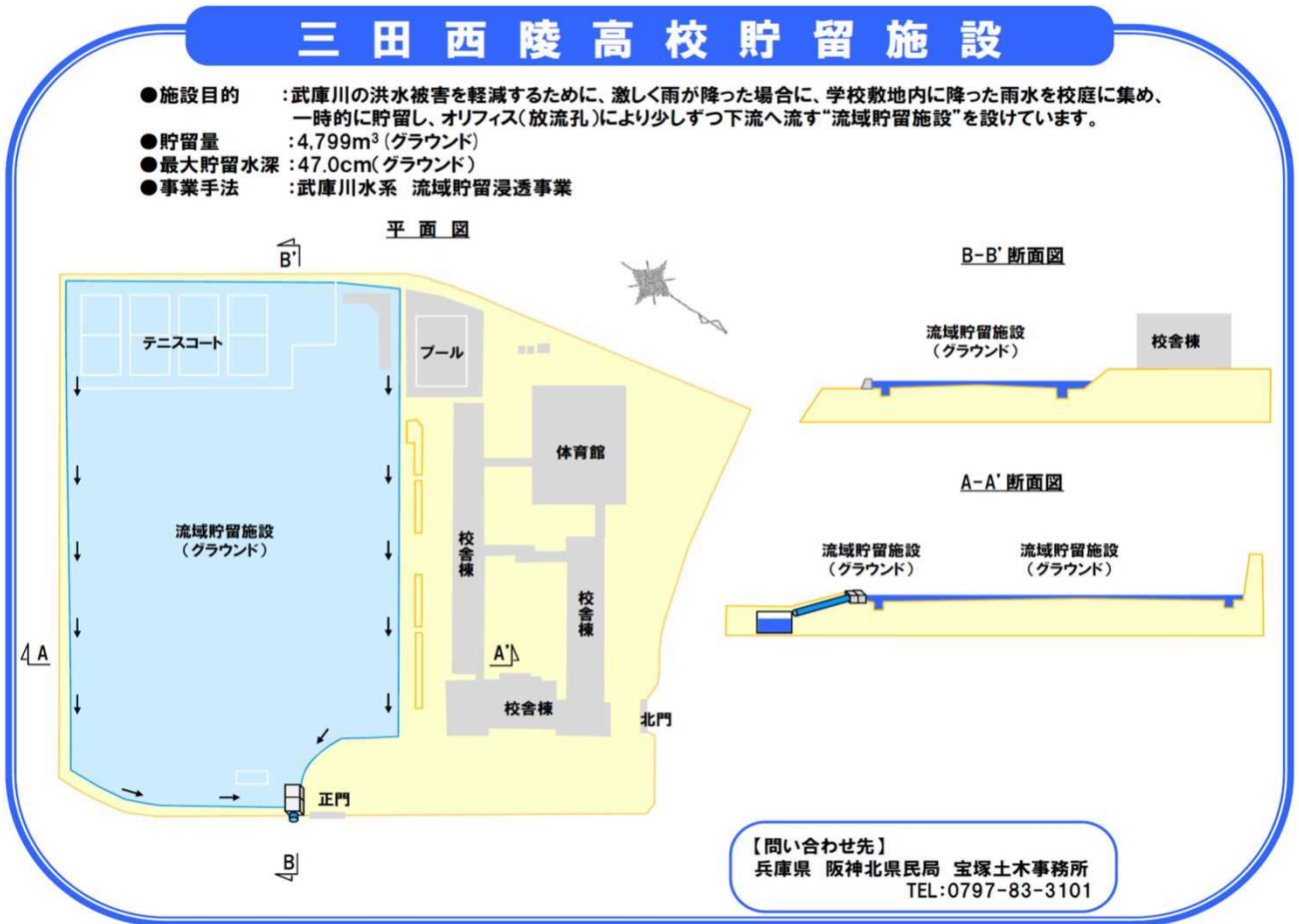
■雨水貯留施設写真



ため池貯留施設 (余水吐)

学校に設置した施設案内看板及び雨水貯留施設写真

■施設案内看板



■雨水貯留施設写真



雨水貯留施設（周囲小堤）

学校に設置した施設案内看板及び雨水貯留施設写真

■施設案内看板

県立北摂三田高等学校 雨水貯留施設

- ◆ 設置目的 : 流域の洪水被害を軽減するために、グラウンド内に降った雨水を一時的に貯留し、放流孔を通じて少しづつ下流へ流す「流域貯留施設」を設けています。
- ◆ 貯留量 : 約1,500m³
- ◆ 最大水深 : 約27cm
- ◆ 事業効果 : 1時間に約66mm(ピーク時)の降雨時に、校外水路への流出量を約0.8m³/s軽減します。

◆問い合わせ先
兵庫県 阪神北県民局
宝塚土木事務所 三田業務所
河川砂防担当
TEL 079-562-8882

■雨水貯留施設写真



雨水貯留施設 (周囲小堤)